

日本を明るく、そして強く

自由民主党総裁選挙立候補に当たり

わたくし、麻生太郎は、総裁選挙に立ちます。

いまくらい、難局に臨んで負けない指導力を、政治が必要としている秋（とき）はありません。わたくしはそれを、我が愛する日本にもたらしべく、立つ所存です。

危機に真正面から向き合う、沈着なる指導力。おのれの退路を断って、国民の先頭を走る指導力。ほとばしる情熱と、信ずるところを堂々説いて突破する、気迫に満ちた指導力。

不肖麻生太郎、これを振るわんとして、一身に鞭打ってまいります。知・情・意すべての力を振り絞り、経験の一切を動員してまいる所存です。

二つの不安と一つの不満が、我が国を覆っています。経済への不安、暮らしへの不安、そしてこれらに有効な手を打とうとしない、政治への不満。

この三つを拭い去るためにこそ、わたくしは立つのです。

経済に再び活力を呼び戻します。強い経済は日本国民の誇りです。その建設は、三〇年先の世代に対する責任です。ただに景気を良くしようというわけではありません。未来に対する自信を取り戻そうというのです。そのためこそつくる、強い経済です。

強い経済は、お年寄りや弱者、子供たちを気遣うことのできる明るい経済です。年金や医療制度に対する不信を取り除き、正規雇用を増やして、未来に展望を持てる国にしなければなりません。そのために、わたくしは立つのです。広範な国民の支持を得て、政治に責任を、実行力を回復させようというのです。

日本と日本国民がもつ、歴史に裏打ちされた奥深い叡智。危機をバネとし、一段の飛躍を遂げる底力の強さ。それらに対する信頼を、わたくしは一日たりとも失ったことはありません。日本の前進を阻むものとは、決断力をなくした政治です。わたくしに課せられた使命とは、政治に本来の力を振るわせ、未来への道標を立てること以外にありません。それによって、我が国と我が国民が本来兼ね備えた叡智と底力を解き放つこと。そのことをおいて他にありません。

日本を明るく、そして強く。

そのために不肖麻生太郎、経験を積んでまいりました。わたくしは、我が愛する日本、我が愛する自由民主党の危機に臨んで立ち、誇りをもって未来に引き継ぐことのできる日本をつくりたい。

党员、党友諸兄弟のご支持を、心より願うものであります。

平成二〇年九月

衆議院議員 麻生太郎